

学長のコラム

「白川・緑川総合水防演習」に参加して思うこと

今月 15 日の本学創立 60 周年記念式典・祝賀会は、多数のご来賓・ご招待者に参加していただき盛大に開催されました。企画・運営に携わって戴いた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、パフォーマンスで盛り上げてくれた「RYUKYU バンド」「ダンス部」「mimic」の学生諸君、教員諸氏にお礼を申し上げます。本学ならではの手作り感満載のパフォーマンスで、非常に好評でした。

さて、本コラムでは、5 月 19 日に開催された「白川・緑川総合水防演習」をご紹介します。この水防演習は、国土交通省九州地方整備局が九州 7 県と持ち回りで実施しているもので、熊本では 2010 年以來の開催でした。本学からは学生 11 名が、熊本大学および県立大学との合同チームを結成し、警察、自衛隊および県内各地区の消防団員らとともに「土のう作り」や「土のう積み」の演習を行いました。おそらく本学学生にとっては初めての経験ではなかったかと思いますが、テキパキと任務を果たしていたのが印象的でした。地域住民の方々と一体となってカレーや牛丼を炊き出しする様子は、大型スクリーンに映しだされ、本学の存在感をアピールしてくれました。私も炊き出しの牛丼をごちそうになりましたが、非常食とは思えないほど美味しい味付けでした。

熊本での水害は、平成 24 年 7 月の龍田地区を主とする浸水被害が記憶に新しいところですが、古くは私の誕生年である昭和 28 年 6 月 26 日に発生した白川大水害で、死者・行方不明者が 442 名という大きな被害となった記録が残っています。これほど大きな人的被害が出た要因の一つが、子飼橋左岸が決壊し大江地区の 130 戸が流失したことです。実は、そのうちの 1 戸が私の実家でした。町内では家財道具を二階に上げ、財産を守るため家長が残っている家が多かったとのことで、決壊によって家もろとも流されて命を失った人が多かったと聞いています。私の実家でも大切な家族の写真や祖父の趣味であった浄瑠璃人形などが流されたと聞きましたが、我が家では生後 6 か月の乳飲み子（私のこと）がいたので、家族全員が早めに非難して助かったと両親から何度も聞かされました。私の記憶にはないのですが、両親からの話は、災害に際して早めの準備、早めの避難がいかに重要かを教えてくれました。

今回、防水訓練を見学して、66 年前の白川大水害を思い出すとともに、改めて日頃の備えの大切さを知らされました。演習に参加した学生諸君も大いに学ぶところがあったと思います。演習に参加した皆さんの健闘を称えたいと思います。



5 月・6 月・7 月の主な行事予定

5/29 (水)	银杏学園 理事会・評議員会
5/31 (金)	新任教員によるお披露目講演会
6/1 (土)	リハ (ST) 就職説明会・実習指導者会議 コンケン大学交換研修生受入 (～6/15)
6/14 (金)	進路指導教員対象進学説明会 実習指導者会議 (認定)
6/15 (土)	球技大会
7/1 (月)	大邱保健大学交換研修生受入 (～7/14)
7/9 (火)	賞与支給式 (予定)
7/15 (月)	(海の日) 出勤日/有給休暇促進日
7/21 (日)	オープンキャンパス
7/26 (金)	助産 前期授業終了
7/27 (土)	補講日
7/29 (月)	助産 前期定期試験 (～8/1)
7/30 (火)	前期授業終了
7/31 (水)	補講日

ピア・サポーター&プチ・サポーター養成講座開催

4 月 1 日 (月) に養成講座を開催し、プチ・サポーター 28 名、ピア・サポーター 57 名が参加しました。「新入生オリエンテーショングループワーク (4/5 実施済)」におけるファシリテーターとしての役割や助言内容等について確認後、新入生役、ピア・サボ役、スーパーバイザー役 (傍観者) を想定したロールプレイを行いました。また、その際の「気づき」を各グループで整理・発表し、活発な意見交換がなされました。

最後に、杉内センター長から平成 31 年度のサポーター委嘱状 (初級 33 名、中級 34 名、上級 15 名) が授与されました。(文責：学生相談・修学サポートセンター)



第 2 回情報セキュリティ研修会

3 月 15 日 (金) 情報セキュリティに関する学内研修会を開催しました。本学情報セキュリティアドバイザーの菊池先生をお招きし、ファイル転送サービスによる情報流出やソーシャルメディアの落とし穴など、身近にあふれる情報漏洩の危険性についてお話いただきました。教職員の情報セキュリティ意識を高め、起こってはならない情報漏洩の危機に備えるための有意義な研修会となりました。(文責：総務課)

綱引き 2019

4 月 19 日 (金) 看護セミナーの授業の一貫として、看護学科 1 年生 (127 名) による「綱引き」を行いました。教職員チームも参加し、計 12 チームで対戦しました。今回の綱引きでは、学生たちはチーム内で作戦を練り、どのチームも、チーム一丸となって綱引きに臨みました。学生、教職員ともに大きな声を出し合い、心と体を精一杯動かし、綱引きは大いに盛り上がりました。学生の感想として「チームワークの大切さを学んだ」「活動を通して、みんなとの仲が深まった」「127 人の力で将来に向かっていく準備ができた」等があり、綱引きという活動を通して得るものがあったようです。ご協力いただいた学長をはじめ、教職員の皆様、ありがとうございました。(文責：看護学科 井上 加奈子)



学長裁量経費成果報告会

4月18日(木) 2207M 講義室にて2018年度学長裁量経費成果報告会が開催されました。報告会では8プログラムが発表され、有意義な報告会となりました。(文責:企画課)

学部4年次保護者会

4月20日(土)、本学にて学部4年生を対象とした平成最後の保護者会を開催しました。

その主たる目的は、国家試験合格、就職内定を獲得することや、学外実習をより有意義なものにするため、学生本人、保護者の皆さま、大学教職員の意思疎通を強化し、今後の学生生活を充実させる覚悟で臨むためのスタートの日にすることです。

当日は、竹屋学長による大学の概要説明、各学科・専攻の分科会、担当教員との個別面談などが行われ、活発な意見交換がなされました。

週末にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございました。(文責:就職支援課)



「Love 子宮の日」啓発活動に参加して

本学の南部先生と亀山先生を顧問、医学検査4年生の上内初音さんを部長としたボランティアサークル「Generation」を昨年度に設立いたしました。活動内容は昨年までのものを継続し、子宮頸がんをはじめとする種々の癌について理解を深めるための勉強会を定期的に行っています。また一般の方々にもこれらの癌について認知していただくため、積極的に啓発活動を行っております。

本年度も去る4月7日(日)日本臨床細胞学会細胞検査士会が全国で展開している子宮頸がん啓発イベント「Love 子宮の日」に、サークル「Generation」として初めて参加いたしました。熊本県細胞検査士会の皆さんと協力して、チラシや資料を多くの方々に配布し、興味を持っていただいた方に口頭で説明するなど、メンバーそれぞれが自発的に活動を行うことができました。様々な方と交流を深めることができただけでなく、最前線の細胞検査士の皆さんの説明を見学することもでき、とても充実した活動を行うことができました。

本イベントが少しでも早期発見率の向上に繋がり、子宮頸がん予防のきっかけになればと願ってやみません。(文責:医学検査学科3年 友添大知)



私の秘話ヒストリー

今回はリハビリテーション学科 理学療法学専攻の山元 総勝教授に投稿していただきました。

エンゲルとの奮闘記

我が家にはエンゲル(4歳4ヶ月、人間では35歳程度)というゴールデンレトリバー(GR)がいます。子ども達が巣立っていった今、エンゲルは私にとって、手の掛かる、やっかいな存在。しかし、一方でかけがえのない存在です。今回エンゲルとの奮闘記をご紹介します。

家族になったのは、平成27年3月。当初、柴犬を飼おうとペットショップを覗いたところ、柴犬のとなりのケージでしっかり私を見て、飼ってほしいとアピールしている犬がいました。最初は小さくて、とてもかわいい存在で、室内で飼っていました。しかし半年もするとみるみる大きくなり柱やソファや椅子などあらゆる物をあま噛みするようになり、現在では屋外で飼っています。体重は50kg弱で、平均より15kg程度重いそうです。

生後1歳の時、あそ望の里(南阿蘇)のドッグランに連れて行ったところ、はしゃぎ過ぎて、びっこを引き始めました。翌日、動物病院に診察に行ったところ、股関節形成不全と診断され、大きくなったら人工骨頭が必要かもしれないと診断されました。それ以来、一握りのいりこをペットフードに混ぜ、また、筋力をつけるために近所の小山山(標高150m)を登る生活が続いています。2歳の時は、妻が食後すぐに運動させたせいか、胃捻転を起こしてしまい、緊急手術でした。昨年の夏は、酷暑でエンゲルも熱中症にかかり3日間の入院点滴を経験しました。

GRの平均寿命は、10歳程度といわれていますが、最近は、ペットフードや医療の質向上で寿命はさらに延びているそうです。また人間同様、高齢化も進み、ペット専用ジムや老犬ホームも都会には存在しているようです。

今年1月からは、エンゲルの介護予防目的に、週3回以上を目標に出勤前の小山登山(約1~1.5時間)を実践中です。犬の散歩はきついですが、私の運動不足解消と癒しにもなっています。犬も人間も同じ動物。エンゲルを通して、ペットのリハビリや運動の効用を実感中です。

